

# TOREK 自然農法 ホットニュース

第 244 号 2018. 8. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

## TOREK 夏季農産展 2018 (販売)

今年は季節が早いから暑い日が続く、例年にならぬほどに梅雨が短く、生産者の皆さまも心配しておりましたが、さすが自然農法の作物、8月3日の夏季農産展販売日には、夏のお野菜や加工品がたくさん揃い、華やかな開催となりました。

気温は30度を超える暑さでしたが、会場内はスタッフの尽力により、風の通り道と思えるくらい涼しく感じられ、心地よい温度であったことに驚きました。来場者がそれぞれの売り場でお野菜や加工品を購入し、イチゴシェイクや、かき氷をイートインされていました。

かき氷は、イチゴ、梅、ブルーベリー、夏みかんと、彩り豊かにそろいました。学生会スタッフの皆さんが、貴重な自然農法の作物を使用し、すべて人の手で作られた100%無添加の贅沢なシロップを、天然水で作った氷にかけて完成です。こんなかき氷はこの場所では味わえません。どの味も人気でとても美味しく、汗がスーッと引いていくのを感じました。

生産する方、購入する方がコミュニケーションをとり、自然農法の作物や加工品などを購入することのできるこの農産展という場を頂いていることに感謝いたします！(スタッフ:萩原真希子)



## 西山農園 人参の収穫と種とり!

昨年12月、地主のYさんに「どこか畑をお借りできる所があれば教えてください」と伝えました。と言いますのも、人参の販売は毎年7月末には終了し、11月まで販売がなかったため、もっと多くの方にお渡しできるようにしたいという思いがありました。するとYさんより「畑を使ってよいという農家さんがいるので、話しに行ってみては」という電話がありました。そして今年2月3日、地主のOさんとお会いし、「無施肥無農薬栽培で畑を使わせていただきたいこと」「仲間と一緒に畑に入って勉強したいこと」を伝えると、「使ってよい」との返事。本当に有り難かったです。

畑は千葉県佐倉市にあり、広さは1反3畝、平らで国道に面しています。以前からお借りしている畑から歩ける場所です。3月より畑を耕し、人参の種まきをしました。生育も順調に進み、7月から収穫が始まりました。とてもよく育ち、豊作です。無事に多くの方にお渡しできる一歩に繋がりました。

隣の畑の方は、様子をよく見ていて、無施肥無農薬栽培でとれてきていることを伝えると、「大成功だね。これからの若い人たちが一生懸命やっているのはすばらしいね。これからも期待している!」と言ってくださいました。また、別の隣の畑の方は「無肥料でやっているの。まあ頑張ってるね」とのこと。もうお一人は、以前からお借りしている畑の前の家の方で、新しい畑に行くために、その家の前の農道を通るのですが、おばあさんお一人で、畑を2ヶ所されています。年も90を過ぎていて、畑をすくきれいにされていて、作物もよく育っています。今まで誰も通ることがなかったところ、私たちがトラクター等で通るようになったため、人参をお渡しし、話をするように心掛けました。するとおばあさんは「うれしい、また話し相手になって」と言ってくださいました。その方より「来年、一ヶ所の畑を使ってください」と話を頂き、有り難く感謝いたします。

今後も周りの方々と話をしながら、現場を見ていただき、自然農法を実施される方々が出てくれることを願いつつ、メンバーと一緒に勉強していきたいと思っております。



また現在、種苗店で働いている関係で、種について勉強しています。以前、木島平の堀さんより「種について調べてほしい」とお話しいただいたことがきっかけで、使う種を変えることにしました。

今年の作付けは、人参、生姜、さつまいもを主とし、あと玉ネギです。人参と玉ネギの種子に関して、特に気になる点がありました。それは種とりです。研究や改良が重ねられ、1960年代より、雄性

不稔(ゆうせいふねん)利用のF1品種が出始め、今日に至っていることが分かりました。

「雄性不稔」とは、雄花に花粉ができない状態のことで、この雄性不稔の株の近くに、正常に(目的の品種の)花粉が出る株をおいて、雄性不稔の株の雌しべに受粉させ、目的品種の種とりを正確に行うことです。しかし、次世代に子孫を残すことができなくなっています。このことを知り、人参と玉ネギは、次の世代に子孫を残しやすい種を使って栽培しようと思ひ、取り組み始めています。

人参の品種は、春人参は春蒔金港五寸、秋冬どりは黒田五寸、冬越黒田五寸を主に使っています。玉ネギは、泉州中甲高黄です。味の良い種類、やわらかい種類です。種一つ一つの特徴を知りながら栽培できるのも、種苗店に勤めているから学べていることに感謝しています。(千葉県:西山欣宏)

## ワークショップ開催に向けて-その1- スタッフ 藤井千亜紀

自然農法の素晴らしさを、友人知人に話しても、なかなか興味を持っていただけず、もどかしい思いをしていました。3年前、Facebookを知り、畑の様子や自然農法の野菜を使った料理の写真、農産展や頒布会のお知らせを投稿するようになりました。すると、1年で8名の方が、畑の見学や自然農法の食材で作ったお弁当を喜び、お話も熱心に聞いていただけようになりました。

一昨年は、頒布会にいらした方の強い勧めがあり、月1回、「自然農法の畑の恵みを楽しむワークショップ」を、渡辺由美さんとTOREKの野中さんと共に行いました。場所が新宿御苑ということもあり、北海道や大阪、群馬など遠くから参加される方もあり、Facebookを通じ交流を続けるうちに、頒布会に来られたり、アートルーム(美術館)に毎月楽しみに通われる方など繋がりができるようになりました。

群馬の中島さんのプラムを使用したとき、ちょうど桐生市から「自然農法がしたくて参加した」というTさんがいらして、中島さんの取り組みを紹介したところ、すぐに中島さんのお店を訪ね、色々教えていただき、昨年より自宅前の田んぼにてお米作りを始めたられました。

去年は自宅で、子育て中の主婦向けの料理教室を行いました。農業の現実や野菜の価値など理解していただけず、途中、「身体によくない食べ物の話は聞きたくない」という声も出てきて、数回で終わりとなりました。せっかく畑もあり、作物もあり、伝えたいこともあるのに、それが活かさない、ワークショップの募集にもかなりの労力を必要とするので、疲れ果ててしまいました。その後、数ヶ月じっくりと、私はこの先どのようにしていくのがよいことなのか、考えるようになりました。

11月、畑では野菜が実り、紅葉が美しく、どなたかにこの素敵な景色と野菜を味わい、楽しんでいただきたいと、今この時期しかない!と、ワークショップを開催したくなり、募集から開催まで数日でしたが、お陰様で、農業や発酵、自然に関心のある40代主婦の方4名の参加を頂きました…(次号へ)

## お知らせ

- ★ 自然農法頒布会 8月27日(月)、9月15日(土) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00
- ★ 自然農法勉強会 8月29日(水) 午前の部 10:30~/午後の部 19:00~ (別院講堂)
- ★ 自然農法頒布会 9月19日(水) 三咲会場 10:00~14:00

## 無施肥無農薬栽培物の販売予定

9月3日 於:伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。 東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- きじま平自然農産: 納豆、ブルーベリージャム、赤いんげん豆、白いんげん豆
- 市川生産グループ: 煎茶、ほうじ茶、ほうじ茶ティーバッグ ● 菜園金野: カットカボチャ、小松菜、ピーマン
- 長柄山自然農園: 卵、オクラ、ナス、ピーマン、イチジク、ジャガイモ、ミニトマト
- 中島農園: 枝豆、長ネギ、インゲン、ジャガイモ、梅干
- ジョリフィーユ: みかんジュースゼリー、ブランガレット、イチゴロール他

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp  
TOREK活動のホームページもご覧ください。 http://www.torek.jp

